

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	府中町立府中北小学校	校長	黒山 寛司	担当者名	加藤 由美
-----	------------	----	-------	------	-------

取組事例名 『 学級力アンケート（スマイルミーティング） 』

○	生徒指導に係る連携体制の確立	○	カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり
---	----------------	---	------------------------------	---	----------------

取組における育てたい資質・能力

- ・自らが伸びようとする意欲と実践力

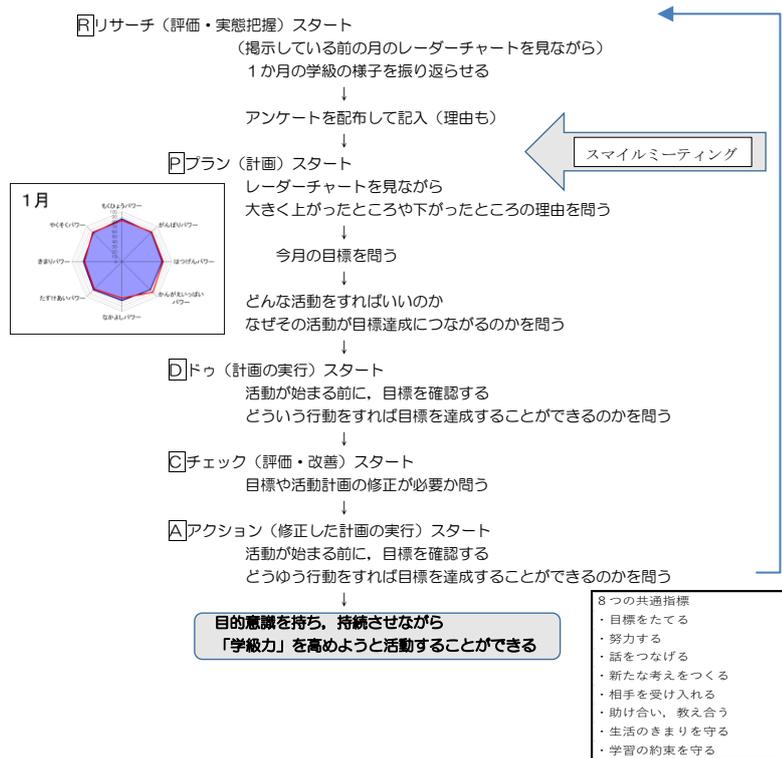
取組のねらい

- ・「子供の支持的な学級風土を作っていくとする力」（学級力）を高める。
- ・学級全体を個々の児童がどう見ているか把握し，学級に対する問題意識や目的意識を明らかにして学級づくりに生かす。（望ましい関係づくり，居場所づくり）
- ・情報共有と多角的・多面的な児童生徒理解に基づく教職員の意識的な対話や言葉がけ。

取組の具体的内容

取組の創意工夫

○実施の流れ



- ・スマイルミーティングについて
- 毎月1回（月末の火曜日）
 各学級でのRが終わった後，学年部の職員で集まり，レーダーチャートを基に8つの共通指標で学級を分析・評価し，共通の視点でアドバイスし合ったり有効な取組を共有したりする。
- 毎週金曜日暮会后5分程度
 学年部を中心に，各学級担任が日々の取組の中でうまくいったこと，気になること，悩み等を交流する。
 スマイルミーティングの内容はスマイルカードを使って生徒指導主事が集約し，管理職に報告。月単位のPDCAを積み重ねていく。
 スマイルカードと各学級の目標は職員にも回覧し，情報共有を図っている。

取組の成果と課題

新潟大学附属新潟小学校の学級力アンケートを基に取り組んでいった。レーダーチャートで8項目の月ごとの変化が分かりやすいので，児童は翌月の目標を意識して取り組みやすかった。教職員全員で取り組み，情報を共有することで，本年度の児童アンケートの結果は高い満足度を保っている（「先生はあなたの良いところを認めてくれます」94%→96%「自己肯定感」82%→87%）。しかし，初年度ということで，学級力アンケートにおいて，スマイルミーティング後の計画が遅れたり，リサーチの手順が担任の負担になったりすることがあった。年度当初に手順について詳しく研修を行い，学年部で実施状況を共有し，負担の少ない方法での取り組み方を考えていく。